

拠点の掲げる2030年以降にありたい社会像

誰もが生涯を通して社会に参加でき、生きがいと創造性を持って、精神的に豊かな生活を楽しむことのできる共生社会

- ・あらゆる壁や境界を融かす「アート」によって、一人ひとりが「ときめき」を感じながら生きる。
- ・多様な価値観を認め合い、助ける、助けられるの二元論を越えた「緩やかなつながり」を実現。
- ・新しい楽しみや出会いが次々と生まれる「苗床」が世界中に広がる。



NEXT SDGsにおいては一人ひとりの「こころの豊かさ」を重要な概念とする必要性を提起していく。

拠点名

共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点

ビジョン

福祉・医療・テクノロジーと融合したアートコミュニケーションによる
誰もが“自分らしく”いられる共生社会の実現

Target 1: Solution

一人ひとりが「ときめく」
創造的瞬間の創出

研究開発課題[1][2]

Target 2: Community

持続可能な仕組みで共生を支える
コミュニティの形成

研究開発課題[3][4]

Target 3: Knowledge

アートがWell-beingに及ぼす効果の
実践知の蓄積と成果の共有

研究開発課題[5]

